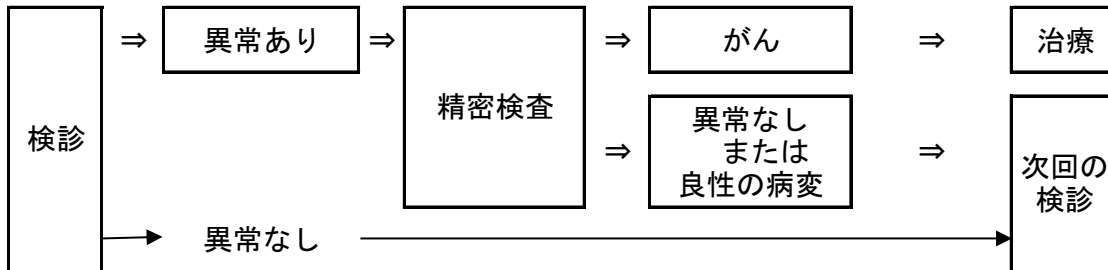


～ がん検診について ～

私たちのおよそ2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。がんによる死亡を防ぐためには、生活習慣に気をつけること、検診を継続して受けることが重要です。

【検診の流れ】



●検診結果が要精密検査となった場合には、かかりつけ医に相談し、必ず精密検査を受けてください。

【がんの特徴および症状・検診内容について】

疾患	がんの特徴について	症状について	市での検診内容
肺がん	発生要因の一つに喫煙があります。また、喫煙していなくてもがんになる場合があります。早期には症状が見られないことが多いです。	・咳や痰 ・痰に血が混じる ・胸の痛み ・動いたときの息苦しさや動悸など	・レントゲン検査 ・喀痰細胞診
大腸がん	早期の段階では自覚症状はほとんどなく、進行すると症状がでることが多くなります。がんになる人の割合は、男女ともに上位を占めています。	・便に血が混じる（血便・下血） ・便秘や下痢、便が細い ・残便感 ・おなかが張る、腹痛 ・貧血など	・便潜血検査
胃がん	早い段階で自覚症状が出ることは少なく、かなり進行しても無症状の場合があります。	・胃の痛み、不快感、違和感 ・食欲不振 ・吐き気 ・貧血 ・黒い便など	・レントゲン検査（バリウム） ・内視鏡検査
前立腺がん	早期の段階では、自覚症状はほとんどありません。早期に発見すれば適切な治療を受けることができ、治療することが可能です。	・尿が出にくい ・排尿回数が多い ・血尿 ・腰痛など	・血液検査（PSA検査）
子宮頸がん	早期に発見すれば比較的治療しやすく予後のよいがんですが、進行すると治療が難しいことから、早期発見が極めて重要です。	・月経以外での出血 ・においを伴う濃い茶色や膿のようなおりもの ・水っぽいおりものや粘液がたくさん出るなど	・内診（細胞診）
乳がん	女性のがんで最も罹る人が多いがんです。女性ホルモンが深く関わっています。	・乳房のしこり ・乳房のくぼみ ・乳頭から分泌物が出るなど	・視触診 ・レントゲン検査（マンモグラフィ） ・超音波検査（エコー）